



夫の言葉

手話との出会いは19年前、手話サークル「ミスバシヨウ」に入ってから。これまで続けてこられた理由は自分でも分かりません(笑)。ただ、サークルの先輩には「聞こえない人は手話を続けるしかない」と言われました。

そのため、最初は手話通訳者の養成講座を受けることを迷いました。無責任なことではできませんし、若くもなく不安だったので。

でも夫に相談すると、「必要とされるなら頑張ればいいじゃないか」とこの言葉に背中を押されました。

夫には行事などがあると、「一緒に参加してもらいます。ろう者に夫の顔を覚えてもらえれば何かあっても安心かな」と思うからです。みんなに「かかあ天下だね」とからかわれることも。それを笑い飛ばしてくれる夫にはいつも感謝しています。

問 障がい福祉課

☎ 72・3194 FAX 75・2270

広告